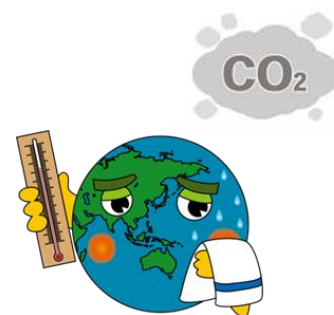


岩船沖洋上風力発電事業で期待されること、配慮すべき事項

1. 期待されること

① 地球温暖化対策に有効

地球温暖化が進んでいる現在、再生可能エネルギーの促進は、日本だけでなく世界規模で取り組んでいかなければなりません。この洋上風力発電は、地球温暖化対策に極めて有効な発電であり、他の地域の模範となるものです。



② 地域にもたらす経済効果

洋上風力発電が実現すれば、大勢の就労者が必要となります。地域の雇用が図られることはもちろん、市外からも大勢の就労者が入ってくることで消費が拡大することが期待できます。

また風車の並ぶ景観を観光資源に活かすことで、集客効果や知名度が高まり、観光はもとより市のイメージアップにも大きく寄与するものと考えます。

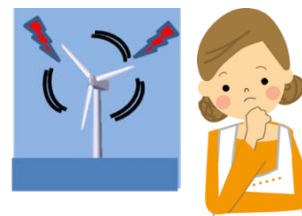
これら地域にもたらされる経済効果は、市の行政運営にも多大な効果をもたらすことから、本市活性化の起爆剤として期待されます。



2. 配慮すべき事項

① 地域住民の生活環境に対する配慮

洋上風力発電の風車から発せられる低周波音や振動などが、地域住民の生活環境に悪影響を及ぼす可能性があることを考え、影響の可否について十分調査するとともに、関係住民の意見等を十分に踏まえ、地域住民の日常生活に配慮することが必要です。



② 景観との調和

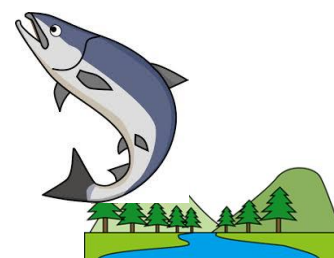
洋上風力発電の整備計画策定にあたっては、地域固有の里地里山の風景や美しい景観と調和するように配慮が必要です。また、風車の景観が観光資源として活かされるようデザインについても配慮が必要です。



③ 自然環境の保全との調和

洋上風力発電が周辺の野生動植物や自然環境に影響を及ぼす可能性があることを考え、自然環境に与える影響を十分調査し、自然環境の保全との調和に配慮する必要があります。

また海岸浸食への影響や、三面川と荒川を遡上する鮭、マス、アユへの影響については特に配慮が必要です。



④ 漁業関係者および岩船港利用者との調整

風車の設置場所を決めるときは、漁業関係者をはじめ粟島汽船や貨物船などの岩船港利用者に支障を及ぼさないよう調整が必要です。



⑤ 地元との情報・意見の共有

地域合意のもと事業を進めるにあたっては、地域社会との良好な関係を構築していく必要があります。説明会などを開催し、地元への適切な情報共有を行うことが必要です。

⑥ 地域の発展に資する取組の検討

洋上風力発電により地域の発展を最大限にもたすために、発電事業者と地域関係者および行政とが連携し、地域の発展に資する取り組みを検討していく必要があります。

